

日本体育大学

令和8年度入学者選抜 【出題の意図・模範解答】

学部・選抜方式	児童スポーツ教育学部 児童スポーツ教育コース 総合型選抜 学部別選考方式Ⅱ期
科目	小論文

【出題の意図】

- ・探究学習や教科・領域に該当しない多様な学びを想定出来るか。
- ・小学校や中学校などで調査可能な学習テーマを設定することが出来るか。
- ・設定した学習テーマにおいて自分自身の専門性として発揮しうることを説明出来るか。

【模範解答】

中学校において「地域の活性化」を学習テーマとした探究学習について述べたい。

インターネットなどで様々な情報を簡単に手に入れられる時代であるが、中学生の足元にある地域を学習対象にして、自分たちで調査計画を立てて地域の生きた情報を集め、分析し、地域活性化案を地域の人たちに向けて発表する学習は、中学生だからこそできる教科・領域に該当しない多様な学びになりうると考える。

「地域の活性化」といっても多様な視点が考えられる。例えば「高齢者が住みやすい街」や「地域の特産品を全国にアピールしたい」など、生徒が地域の現状を調査する中で様々な視点を見出し、地域活性化案の方向性によってグループを分けて調査・提案することも想定される。このような場合に私の専門性を発揮できる場面として、心身や運動・スポーツに関する探究学習の支援を挙げたい。

あるグループの目標として「地域の人々が喜ぶことや元気になる取り組み」を設定したとすると、地域には様々な年代の人々が暮らしており、ターゲットとする地域の人々に寄り添った取り組みが必要となる。特に日常生活で生徒が接することの少ない幼児や高齢者をターゲットとする場合には、幼児や高齢者の心身について生徒が理解しておくことが欠かせない。さらに幼児や高齢者との運動・スポーツ交流を計画する場合などは、幼児が理解できるようにゲームのルールを簡略化したり、高齢者が自身の体力に合わせて運動の難易度を選択できるようにしたりするといった工夫も必要になる。

私が大学において学ぶ心身や運動・スポーツについての知見をそのまま生徒に教えるのではなく、生徒が本やWebページなどから上で述べたような知見を適切に収集し、幼児や高齢者とのスポーツ交流などを立案できるよう支援していくことが私の専門性の発揮であると考えられる。